



2023年 6月16日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード: 4026)

2023年4月期 決算説明資料

～決算概要及び中期経営計画～

I	2023年4月期 業績	2	III	株主還元	19
1.	業績概要	3	1.	株主還元	20
2.	営業利益分析	4	IV	補足資料	21
3.	セグメント別業績	5	1.	当社について	22
4.	財政状態	7	2.	環境への取組み	33
5.	キャッシュ・フローの状況	8			
II	中期経営計画(ローリング) —2024年4月期～2026年4月期	9			
1.	計画概要	10			
2.	2024年4月期～2026年4月期 業績計画	11			
3.	2024年4月期 業績予想	12			
4.	化成品事業：マグネシウム	13			
5.	化成品事業：セラミックス	15			
6.	窯業系建材事業	17			

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2023年4月期 業績

KONOSHIMA

I-1.業績概要

(単位:百万円)

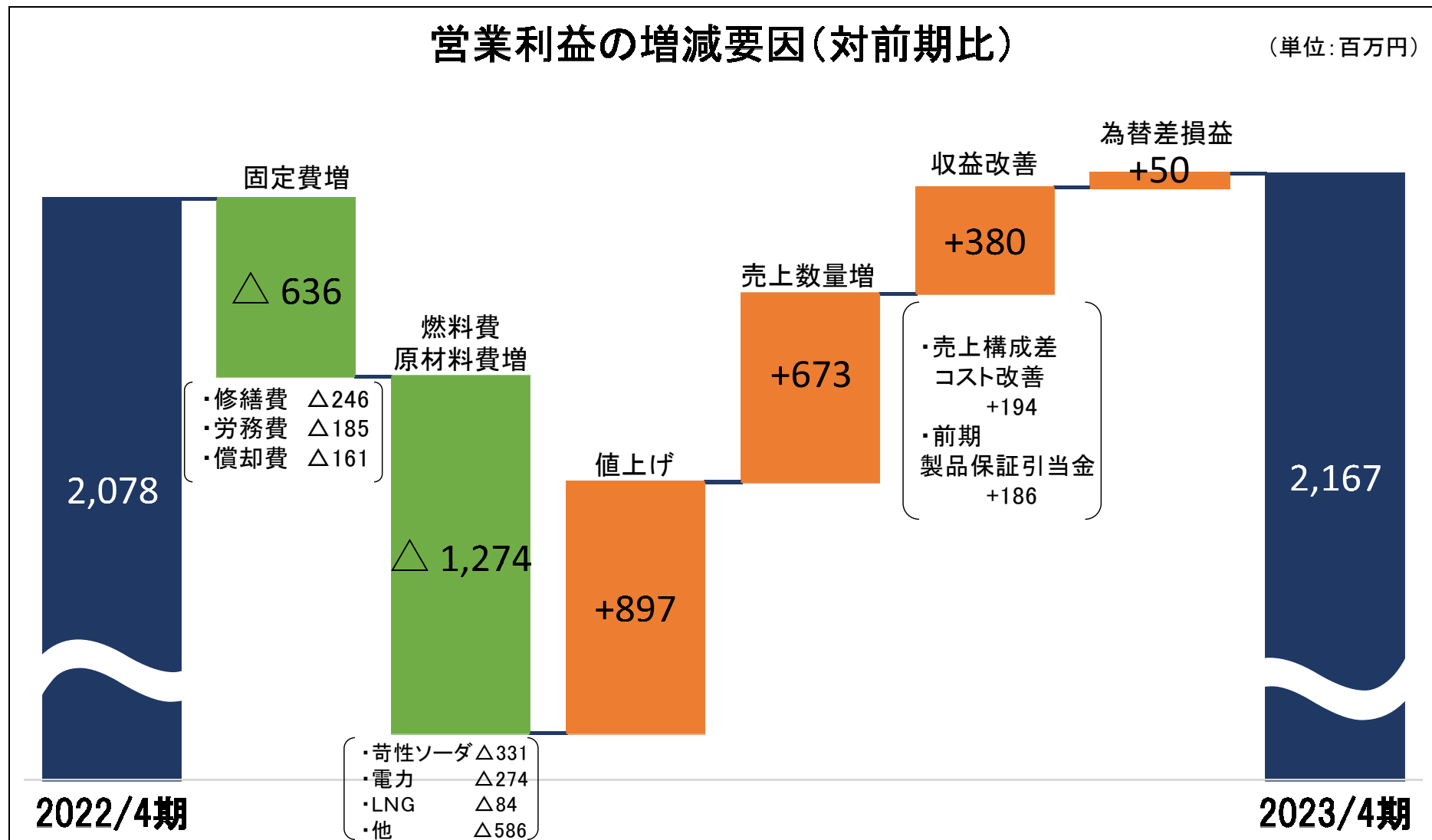
	2022/4期 通期実績	2023/4期 通期実績	前期比		2023/4期 通期予想(※2)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	21,787	23,986	+2,199	+10.1%	23,800	+186	100.8%
建材	13,395	14,398	+1,003	+7.5%	14,080	+318	102.3%
化成品	8,391	9,587	+1,195	+14.3%	9,720	△132	98.6%
マグネシウム	7,415	8,236	+820	+11.1%	8,240	△3	99.9%
セラミックス	976	1,351	+375	+38.5%	1,480	△128	91.3%
営業利益	2,078	2,167	+89	+4.3%	2,200	△32	98.5%
建材(※1)	1,007	1,242	+234	+23.3%	1,000	+242	124.2%
化成品(※1)	1,660	1,514	△145	△8.8%	1,760	△245	86.0%
経常利益	2,084	2,142	+57	+2.8%	2,200	△57	97.4%
(経常利益率)	(9.6%)	(8.9%)	—	—	(9.2%)	—	—
当期純利益	1,365	1,533	+167	+12.3%	1,500	+33	102.2%
減価償却費	1,079	1,242	+163	+15.2%	1,340	△97	92.8%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

※2 公表日2022年6月10日

- ◇ 売上高は建材事業(+7.5%)、化成品事業のマグネシウム(+11.1%)、セラミックス(+38.5%)ともに増収
- ◇ 営業利益は、建材事業(+23.3%)の増益、化成品事業(△8.8%)の減益

I-2. 営業利益分析



- ◇ 営業利益は、固定費の増加や大幅な燃料費・原材料費(変動費)の上昇があったものの、値上げや売上数量増、高付加価値化による売上構成差・コスト改善等の収益改善効果積上げにより、前期比+89百万円(+4.3%)の増益

I-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

(単位:百万円)

	2022/4期 通期実績	2023/4期 通期実績	前期比		2023/4期 通期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	13,395	14,398	+1,003	+7.5%	14,080	+318	102.3%
住宅	10,742	11,513	+770	+7.2%	11,174	+339	103.0%
高級軒天ボード	2,734	3,110	+376	+13.8%	2,800	+310	111.1%
(高級軒天比率)	(20.4%)	(21.6%)	—	—	(19.9%)	—	—
非住宅	2,652	2,885	+232	+8.8%	2,906	△20	99.3%
(非住宅比率)	(20.2%)	(20.0%)	—	—	(20.6%)	—	—
セグメント利益	1,007	1,242	+234	+23.3%	1,000	+242	124.2%

(参考)

(単位:万戸)

※ 公表日2022年6月10日

新設住宅着工戸数	86.5	86.0	△0.5	△0.6%
----------	------	------	------	-------

- ◇ 売上高は、注力製品である住宅用高級軒天ボードの伸び(+13.8%)が寄与し、増収
- ◇ 非住宅分野では、高層ビル用耐火パネルの好調により増収
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料の上昇による影響があったものの、値上げや高付加価値製品(高級軒天ボード)の拡販・各種コスト削減により、増益(+23.3%)

I-3.セグメント別業績【化成品事業】

(単位:百万円)

	2022/4期 通期実績	2023/4期 通期実績	前期比		2023/4期 通期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	8,391	9,587	+1,195	+14.3%	9,720	△132	98.6%
マグネシウム	7,415	8,236	+820	+11.1%	8,240	△3	99.9%
国内	3,810	4,035	+224	+5.9%	4,033	+2	100.1%
海外	3,605	4,201	+596	+16.5%	4,207	△5	99.9%
(海外比率)	(48.6%)	(51.0%)	—	—	(51.1%)	—	—
セラミックス	976	1,351	+375	+38.5%	1,480	△128	91.3%
セグメント利益	1,660	1,514	△145	△8.8%	1,760	△245	86.0%

※ 公表日2022年6月10日

- ◇ マグネシウムは、自動車等工業用製品の受注回復に伴い、難燃水酸化マグネシウムが増収、また、海外の健康関連のサプリメント需要好調により酸化マグネシウムも増収
- ◇ セラミックスは、蛍光体を中心に大幅に増収(+38.5%)したものの、レーザー結晶製品の販売期ずれにより予想比未達
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料費の上昇による影響に対し、値上げや高利益率のマグネシウム製品・セラミックス製品の拡販を実施したが、コスト増を吸収するまでに至らず減益

I -4.財政状態

(単位:百万円)

	2022/4期 期末	2023/4期 期末	前期末比
現金及び預金	1,871	2,148	+276
売上債権	4,618	4,968	+349
棚卸資産	3,729	4,678	+948
建物、機械装置	8,108	8,573	+465
建設仮勘定	2,135	4,720	+2,585
資産計	24,697	29,389	+4,692
仕入債務	3,528	3,841	+313
借入金	4,840	7,966	+3,125
負債計	15,331	18,831	+3,499
純資産計	9,365	10,558	+1,192
負債・純資産計	24,697	29,389	+4,692
(自己資本比率)	37.7%	35.7%	△2.0%

I-5. キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

	2022/4期 期末	2023/4期 期末
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,057	1,817
実質営業キャッシュ・フロー ※	2,984	3,355
運転資金キャッシュ・フロー ※	△204	△986
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,372	△4,166
固定資産の取得	△2,402	△4,178
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,219	2,625
借入金純増減(減: △)	1,841	3,125
配当金の支払	△345	△343
4. 現金・現金同等物増減(減: △)	904	276
5. 現金・現金同等物当期末残高	1,871	2,148

※ 実質営業キャッシュ・フロー = 税引前当期純利益 + 減価償却費

※ 運転資金キャッシュ・フロー = 売上債権増減 + 棚卸資産増減 - 仕入債務増減

Ⅱ 中期経営計画(ローリング)

—2024年4月期～2026年4月期

・ 2024年4月期～2026年4月期 の経営戦略

(1) 基本方針

- ・旺盛な需要に対応した設備投資の拡大と持続的成長モデルの構築
- ・建材と化成品のハイブリッド技術による脱炭素社会への「ハイエンド商品の追求」と「収益の極大化」

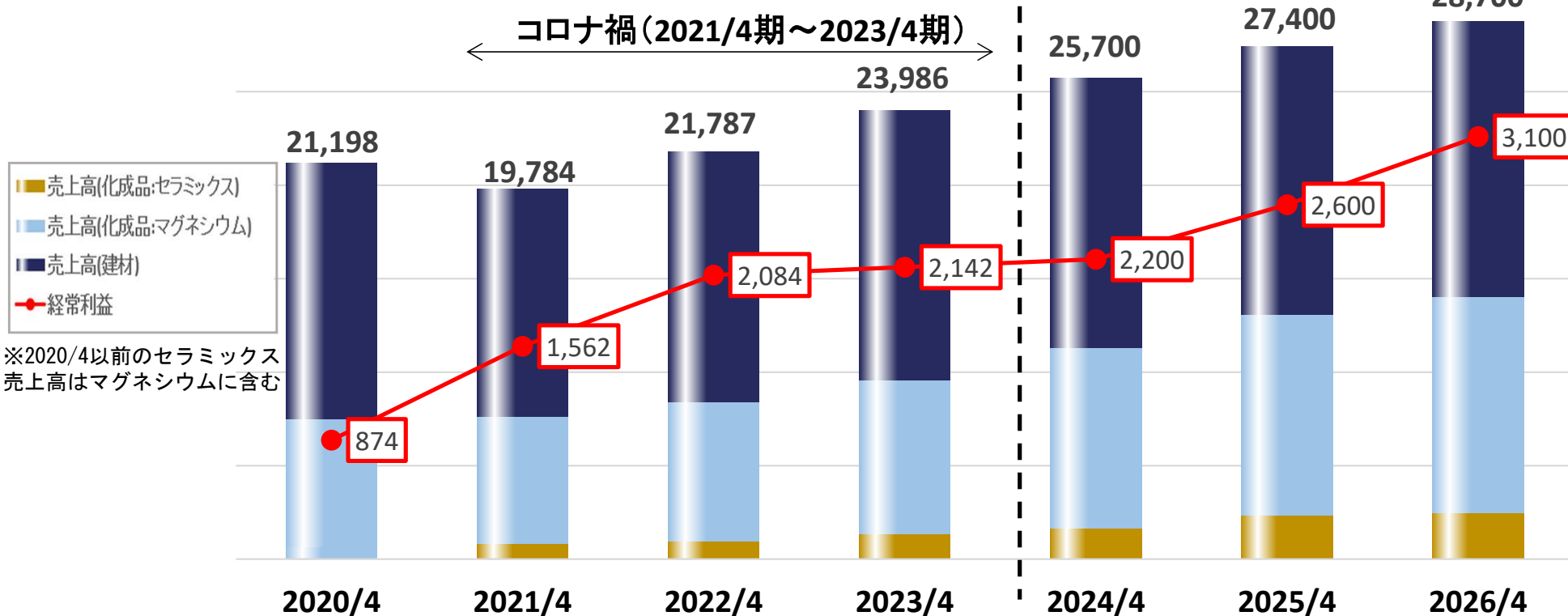
(2) 基本戦略

- ①ユニークなビジネスモデルによる排ガスCO₂の固定化と資源循環型建材の提供
- ②マグネシウム事業の海外市場拡大と高付加価値化
- ③オンリーワン / セラミックス事業の本格的事業化

Ⅱ-2. 2024年4月期～2026年4月期 業績計画

年度	2020/4	2023/4	差額
売上高	21,198	23,986	+2,788
経常利益	874	2,142	+1,268

(単位：百万円)



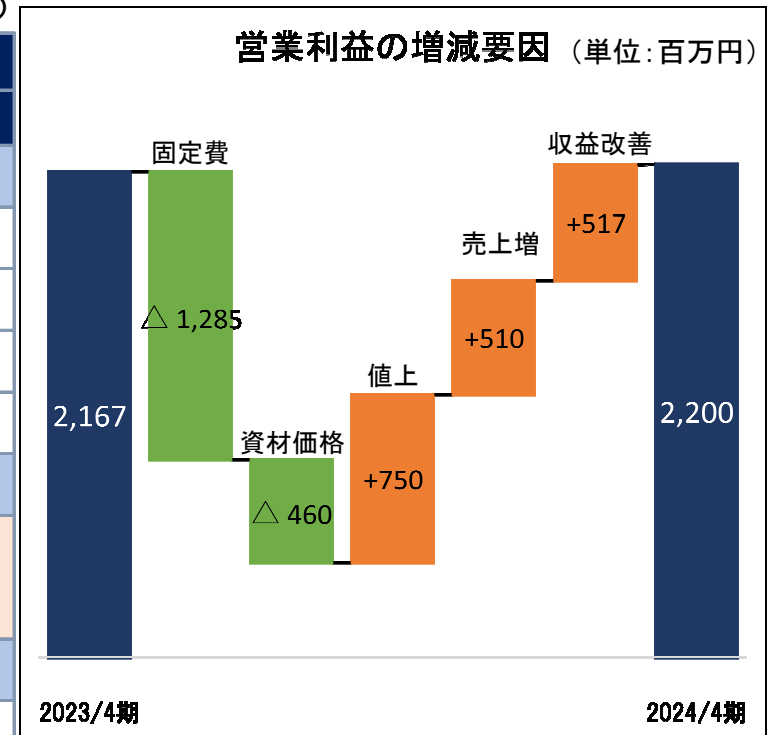
自己資本比率	39.4%	45.6%	37.7%	35.7%	35.7%	37.6%	44.1%
総資産	19,082	18,602	24,697	29,389	32,700	35,000	33,700
純資産	7,552	8,540	9,365	10,558	11,738	13,235	14,931
設備投資額	933	1,685	4,522	4,273	1,800	5,308	1,000
ROE	8.2%	13.6%	15.3%	15.5%	14.4%	15.3%	15.7%
EBITDA ※	2,030	2,492	3,157	3,410	4,228	4,960	5,725

※(営業利益+減価償却費)

Ⅱ-3. 2024年4月期 業績予想

(単位:百万円)

	2023/4期 通期実績		2024/4期 通期予想		通期予想実績比	
		上期		上期	金額	増減率
売上高	23,986	11,478	25,700	12,560	+1,713	+7.1%
建材	14,398	6,916	14,400	7,150	+1	+0.0%
化成品	9,587	4,562	11,300	5,410	+1,712	+17.9%
マグネシウム	8,236	3,975	9,700	4,700	+1,463	+17.8%
セラミックス	1,351	586	1,600	710	+248	+18.4%
営業利益	2,167	1,060	2,200	1,070	+32	+1.5%
経常利益	2,142	1,052	2,200	1,070	+57	+2.7%
(経常利益率)	(8.9%)	(9.2%)	(8.6%)	(8.5%)	—	—
当期(四半期)純利益	1,533	621	1,600	780	+66	+4.4%
減価償却費	1,242	606	2,028	945	+785	+63.2%
EBITDA	3,410	1,666	4,228	2,015	+817	+24.0%
設備投資額	4,273	2,037	1,800	900	△2,473	△57.9%
配当(円/株)	40	20	42	21	+2	+5.0%
(配当性向)	(23.6%)	(29.1%)	(23.7%)	(24.3%)	—	—



(2024/4期
前提)

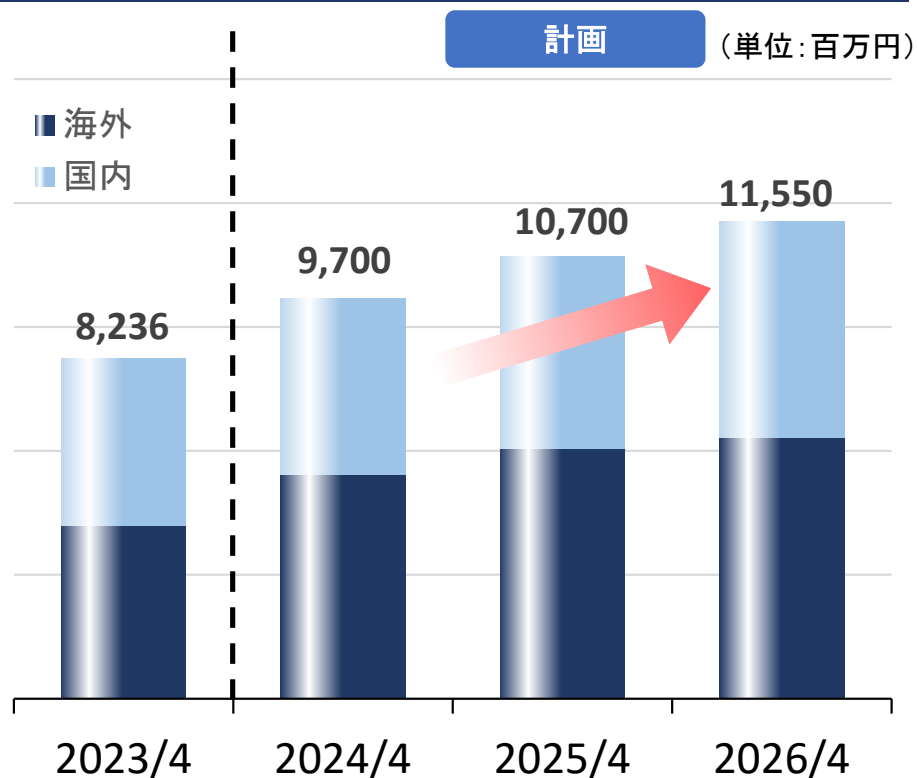
項目	数値	単位
為替	130	円/\$
WTI	90	\$/バレル

- ◇ 建材は、高付加価値製品の高級軒天ボードなど売上高が好調に推移
- ◇ 化成品は、大型設備稼働により酸化マグネシウム、難燃水酸化マグネシウムを中心に大幅増収
- ◇ 損益面では、償却費などの固定費増や電力料金高騰によるコスト増はあるものの、売上増、値上、収益改善により引き続き増益見込

Ⅱ-4.化成品事業：マグネシウム

①中期経営計画(2024/4期～2026/4期)

化成品事業(マグネシウム)売上高



売上高全体に占めるマグネシウム売上高比率

年度	2023/4 (実績)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)	2026/4 (計画)
比率	34%	38%	39%	40%

中期経営計画(2024/4期～2026/4期) 重点項目

■ 大型設備投資完了後の量的拡大

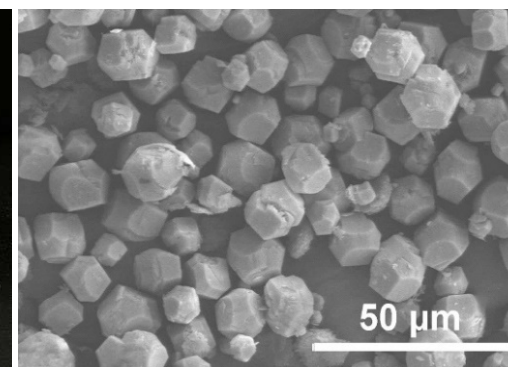
投資期	投資内容	投資金額	完成年月
2022年4月期	酸化マグネシウム顆粒設備	13億円	2022年4月
2024年4月期	難燃水酸化マグネシウム増産設備	26億円	2023年6月予定
2024年4月期	酸化マグネシウム増産設備	27億円	2023年7月予定

■ 高機能・高付加価値の新製品開発

- ・高機能粒子製品
- ・市場の環境対策(EVほか)に対応した製品開発



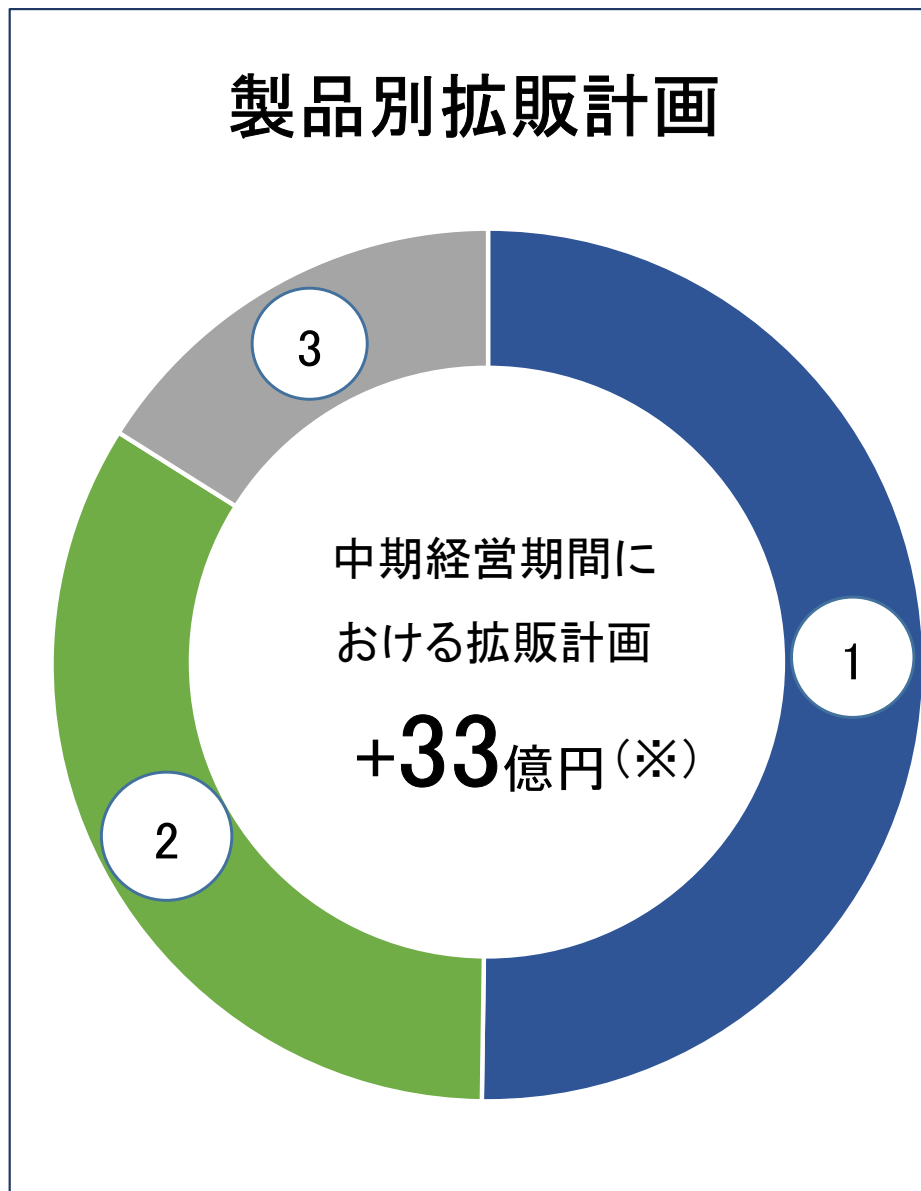
酸化マグネシウム



合成マグネサイト「マグサーモ」

Ⅱ-4.化成品事業：マグネシウム

②大型設備投資による拡販



(※)2023/4期実績比での2026/4期見込み

①酸化マグネシウム

- ・輸出向け顆粒(ミネラルサプリ用)
- ・医薬用顆粒(緩下剤用)
- ・輸出工業用(プラスチック、合成ゴム等)

②難燃水酸化マグネシウム

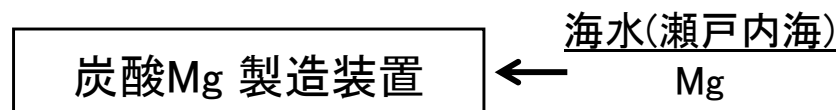
- ・工業用(自動車電線向け他)

③新規開発品

- ・熱伝導性フィラーに用いられるマグネサイト(プラスチックの機能性向上に用いられる物質)等

【その他事項】 排ガスCO₂の再利用

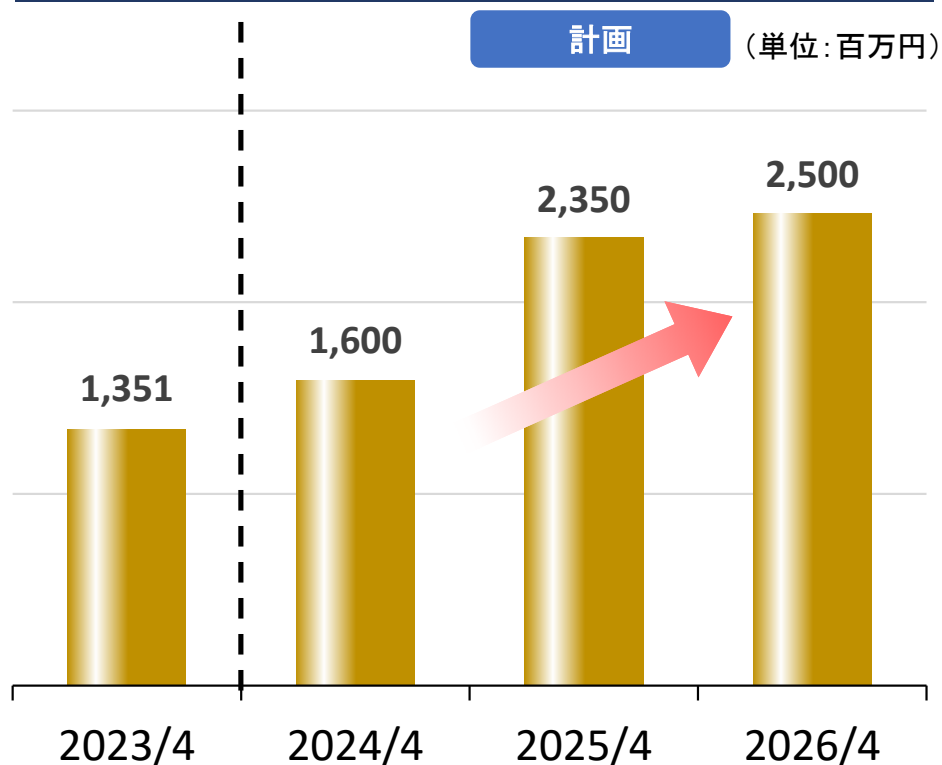
- ・CO₂を固定化して、炭酸マグネシウムを製造



Ⅱ-5.化成品事業：セラミックス

①中期経営計画(2024/4期～2026/4期)

化成品事業(セラミックス)売上高

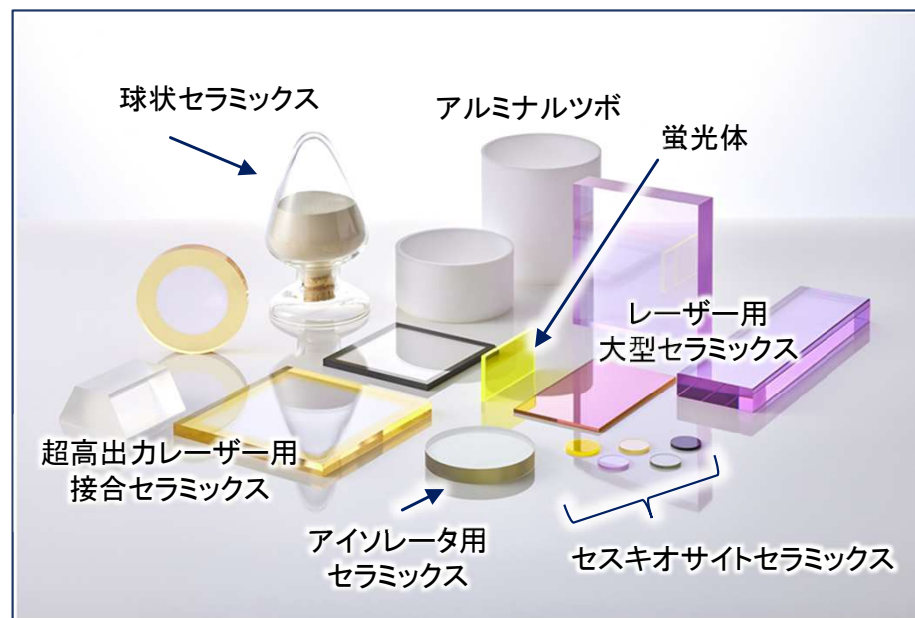


売上高全体に占めるセラミックス売上高比率

2023/4 (実績)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)	2026/4 (計画)
5.6%	6.2%	8.5%	8.7%

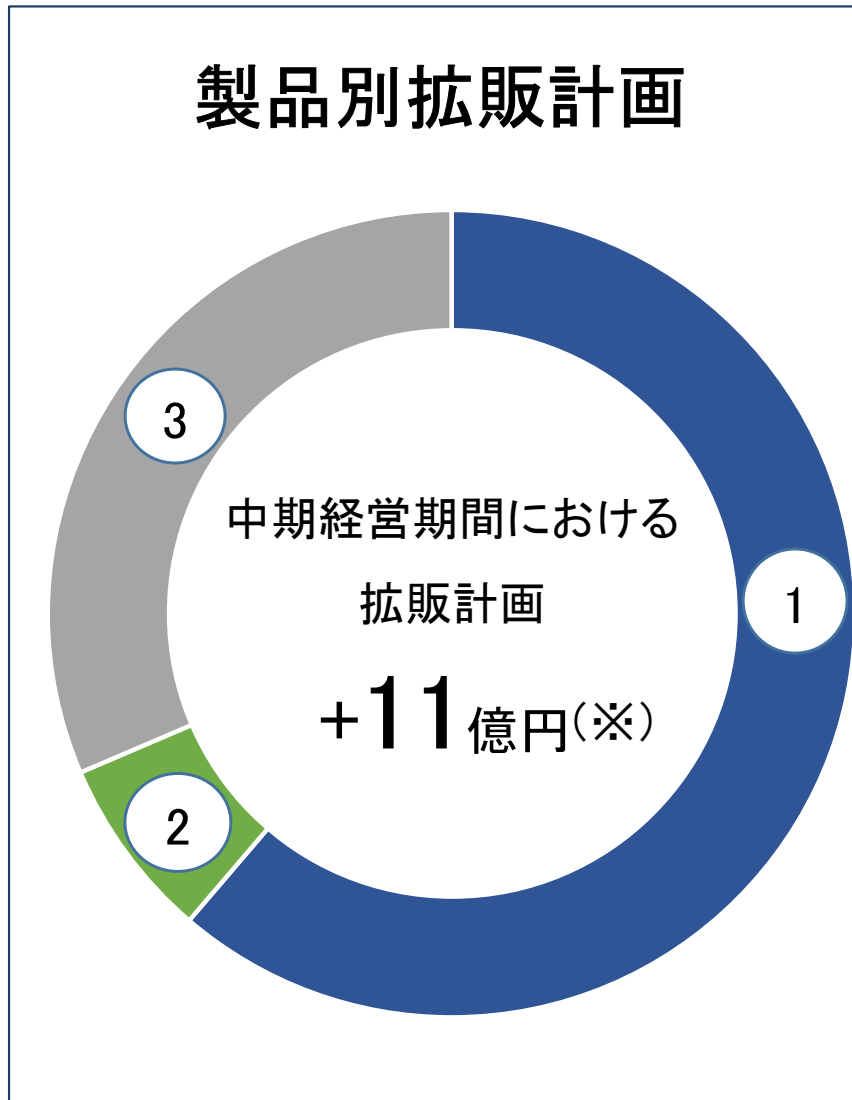
中期経営計画(2024/4期～2026/4期) 重点項目

- 新工場本格稼働による量産効果
- 大幅な需要拡大に対応した生産体制の構築
- 研究開発を進めてきた「大型レーザー結晶」の展開



Ⅱ-5.化成品事業：セラミックス

②新工場の本格稼働による製品拡販



① 蛍光体

- ・車載用途蛍光板増加
- ・プロジェクター用途「LED用蛍光体」販売開始

② 蓄冷材

- ・MRI用途向けに堅調に推移

③ レーザー 他

- ・「大出力レーザー」の本格展開
- ・レーザー核融合発電へ向けた研究需要の拡大^(注)

(注)2023年3月5日放送 NHK Eテレ「サイエンスZERO」にて当社の透明セラミックスを紹介



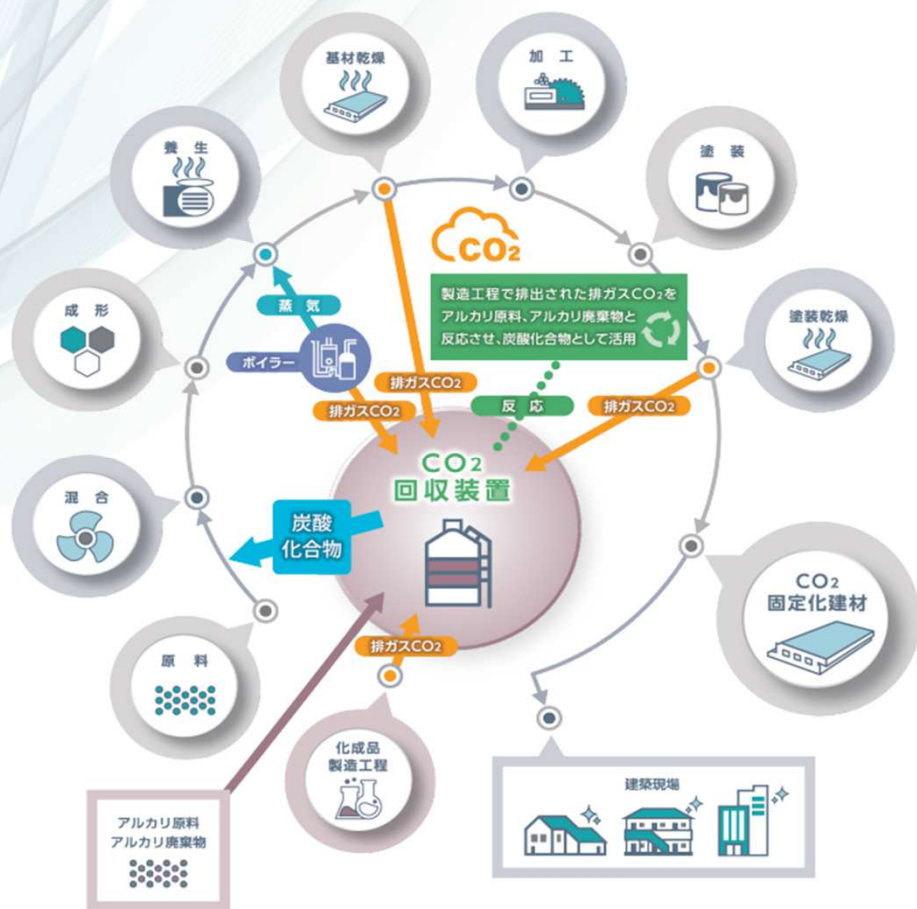
(※)2023/4期実績比での2026/4期見込み

II-6. 窯業系建材事業

ユニークなビジネスモデルによる排ガスCO₂の固定化と資源循環型商品の提供

製造工程からの排ガスCO₂を活用し、粒形・粒径コントロール技術により最適化した炭酸化合物を製造し、これを建材製品の原料とすることで、CO₂固定化建材を製造します。

排ガスCO₂固定化フロー



Effectiveness of Carbon Sequestration

製品ごとの排ガスCO₂固定量(見込)

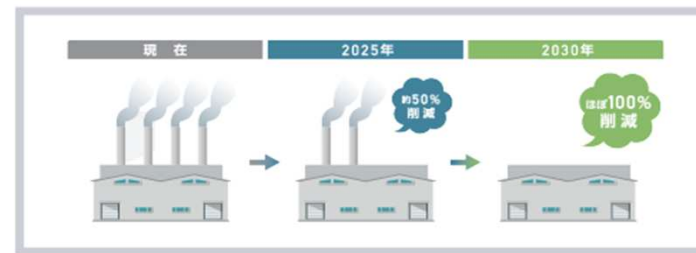
当社の製品は製造工程から発生する排ガスCO₂を直接回収し固定化します。排ガスの大気への放出ゼロを目指しています。

戸建住宅1棟で
約560~900kgの排ガスCO₂固定
(オフセットを除く)

(外壁サイディング160枚+軒天井ボード20枚と想定)

外壁サイディングの場合	軒天井ボードの場合
(≒t18×455×3030mm指定試験) (1棟160枚と想定)	(≒t12×910×1820mm指定試験) (1棟20枚と想定)
約3~5kg/枚のCO ₂ 固定 ⇒戸建住宅1棟で約500~800kgのCO ₂ 固定	約3~5kg/枚のCO ₂ 固定 ⇒戸建住宅1棟で約60~100kgのCO ₂ 固定

当社は2030年にScope1のほぼ100%削減を目指しています。

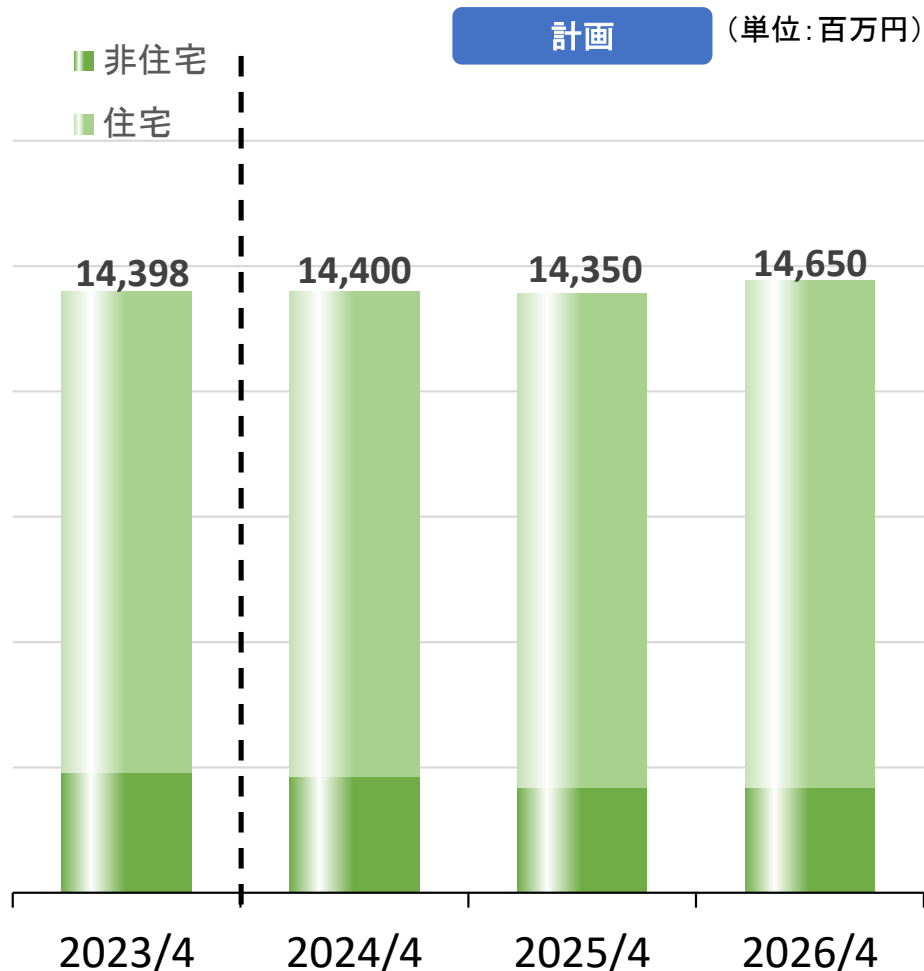


2025年にCO₂固定化建材の製造開始、従来型からの変更

Ⅱ-6. 窯業系建材事業

① 中期経営計画(2024/4期～2026/4期)

建材事業売上高



中期経営計画(2024/4期～2026/4期) 重点項目

- 高付加価値製品の高級軒天ボードに注力
- サイディングも、高級軒天ボードと意匠統一化、高付加価値化



- CO₂固定化建材に向けたカーボンニュートラル装置の導入

Ⅲ 株主還元

KONOSHIMA

Ⅲ-1.株主還元

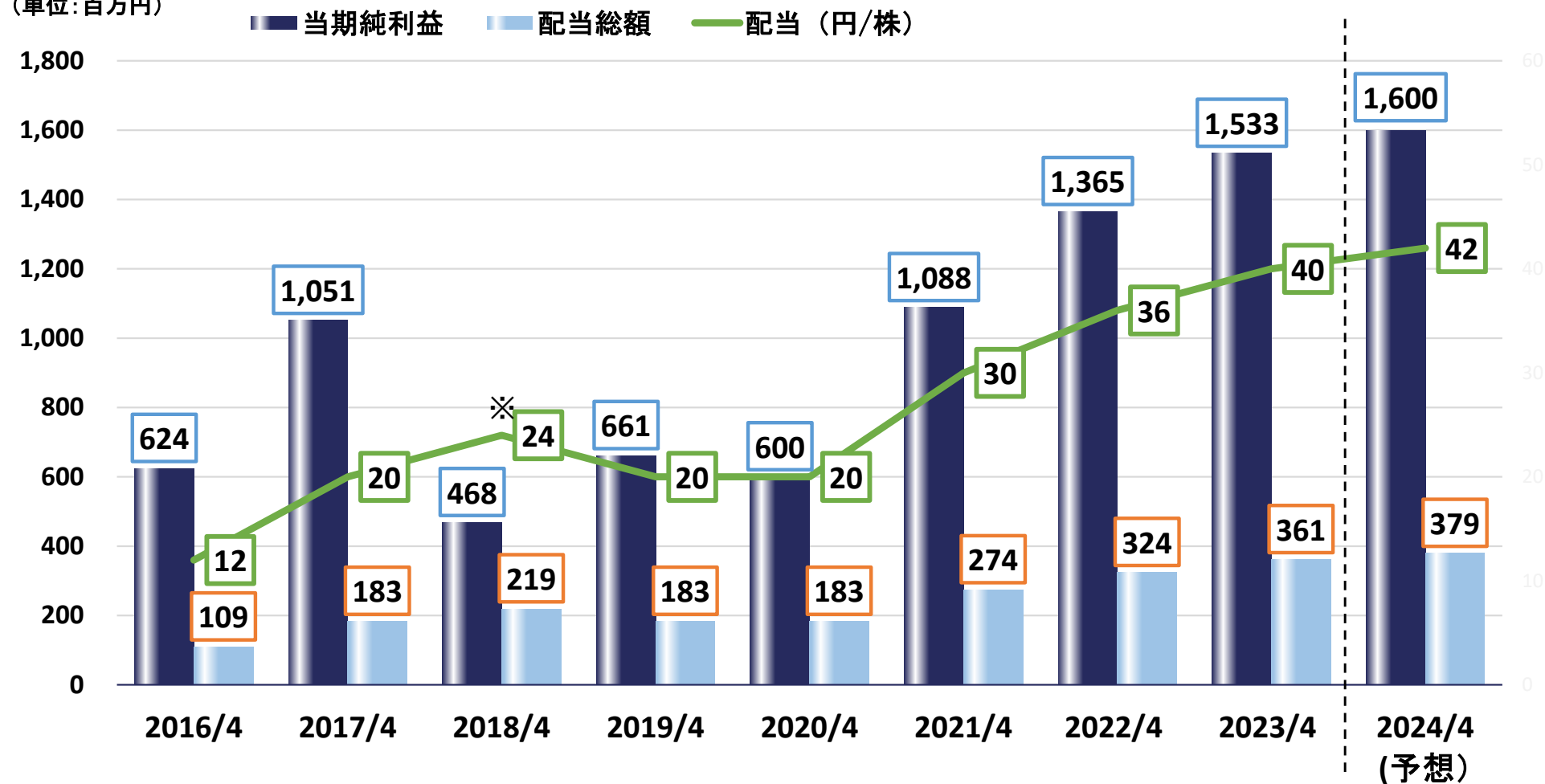
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保(設備投資資金)の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2024年4月期は、年間配当42円を予想

(単位:百万円)



配当性向	17.6%	17.4%	46.9%	27.7%	30.5%	25.2%	23.9%	23.6%	23.7%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当

IV 補足資料

経営の基本方針

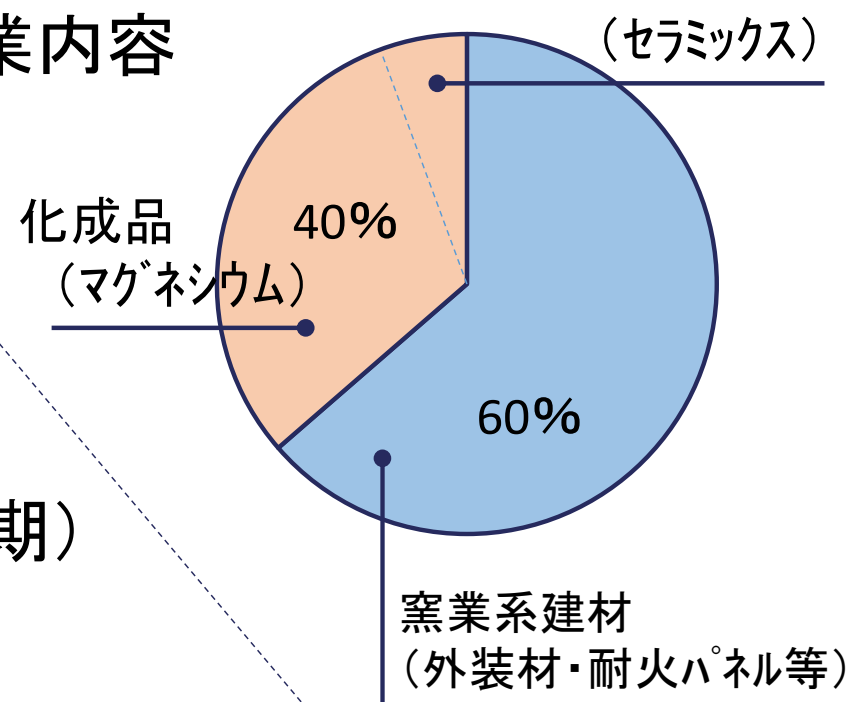
無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業	1917年6月
設立	1946年3月
資本金	13億20百万円
従業員	629名
売上高	239億86百万円（2023年4月期）
代表者	代表取締役社長 池田和夫

事業内容

2023年4月期



IV -1.当社について【沿革】



IV -1.当社について【拠点】



IV -1.当社について【窯業系建材事業】

・住宅分野（外装）



不燃軒天ボード

木目柄など多彩な
バリエーションの軒天ボード
GOOD DESIGN AWARD 2020 受賞

不燃外部造作材(破風板)

寒冷地域の凍害にも強い
「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫
で本物志向の高級外壁材

軒天ボード(木目柄)と
調和する高意匠外壁材を
ラインナップ



IV -1.当社について【窯業系建材事業】

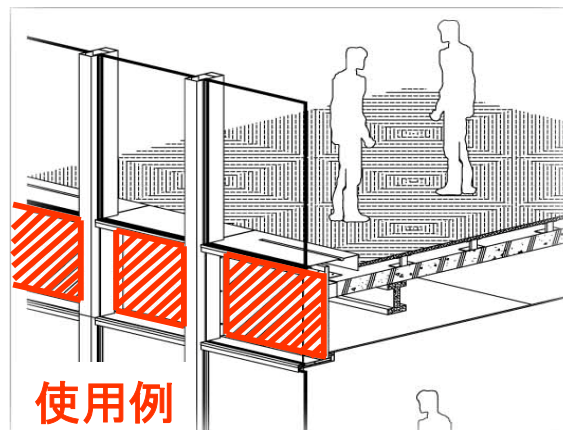
・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカートンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



使用例

LAMBDA ラムダ

- ・高強度により、
最高31mの中高層の建物にも対応
- ・塗装によりメタリックやパールの光沢感、
コンクリートの風合い



IV -1.当社について【窯業系建材事業】

・非住宅分野(外装)



あらゆる外観を美しく魅せるリアルな質感が評価され、様々な施設で活用されるなどの広がりを見せております



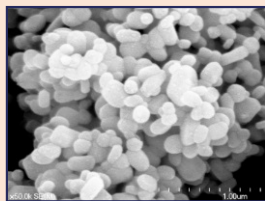
IV -1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能



使用用途例

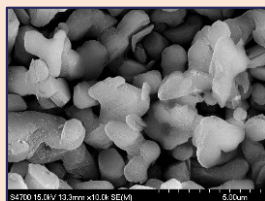
酸化マグネシウム (スターマグ)



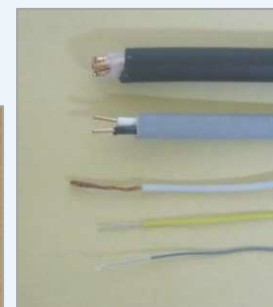
- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤等



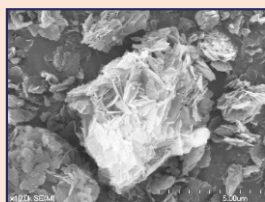
難燃水酸化マグネシウム (マグシーズ)



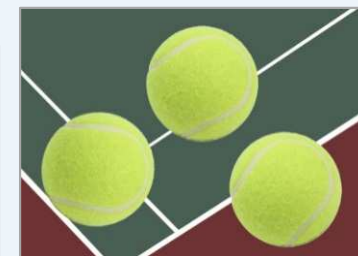
- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材等
- ・電子材料



炭酸マグネシウム

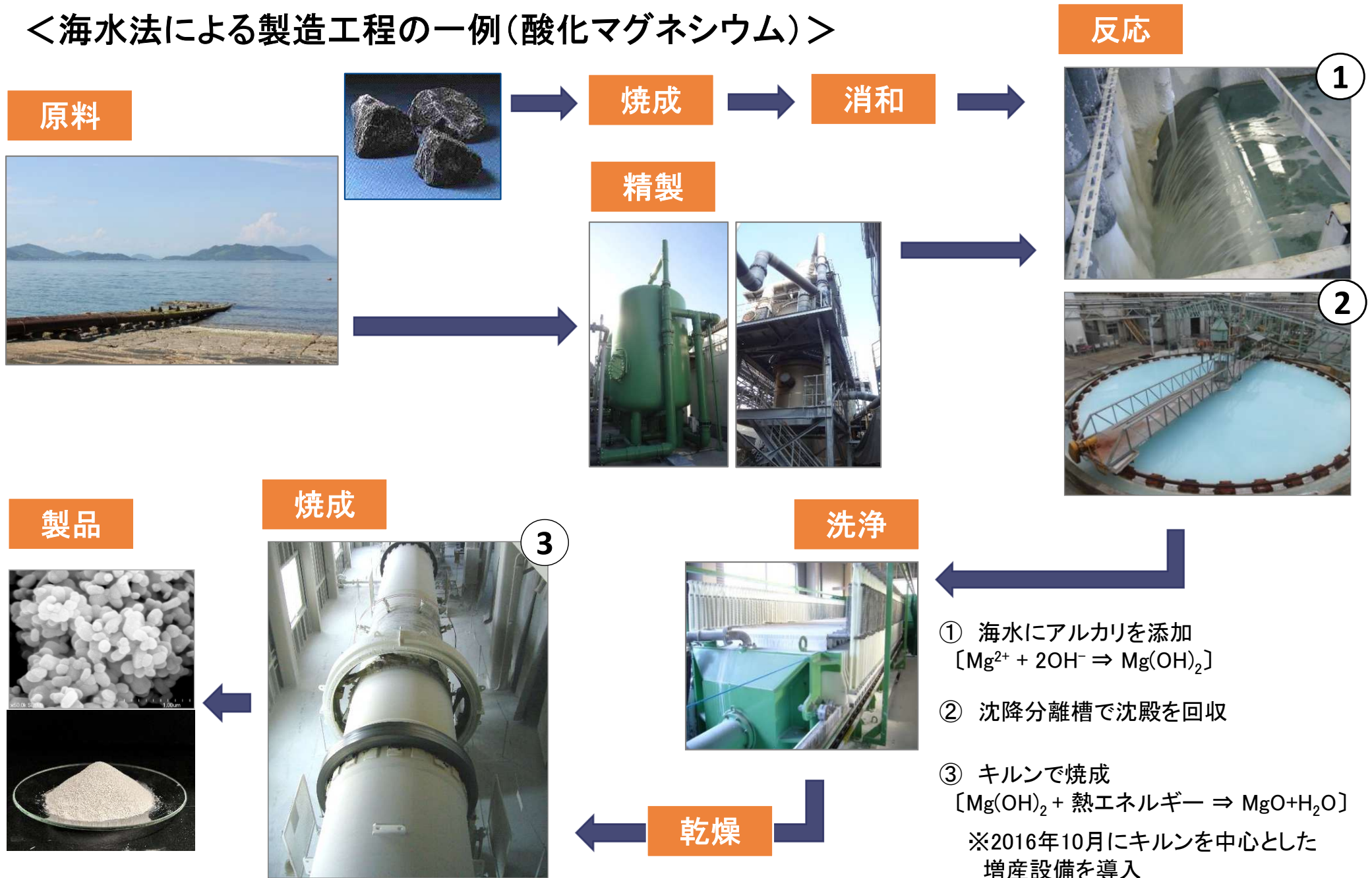


- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・インク、飼料等



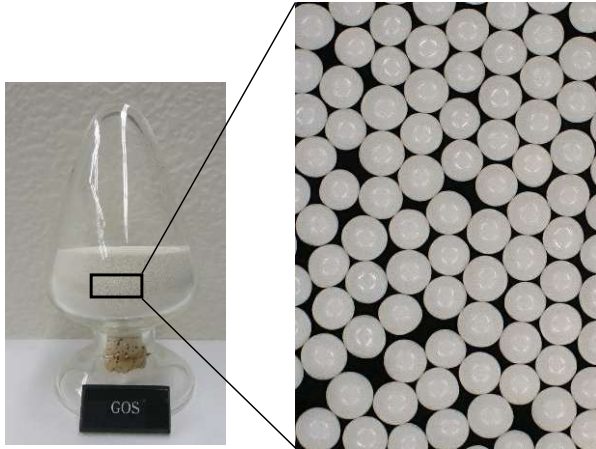
IV -1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

<海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>



IV -1.当社について【化成品事業-セラミックス】

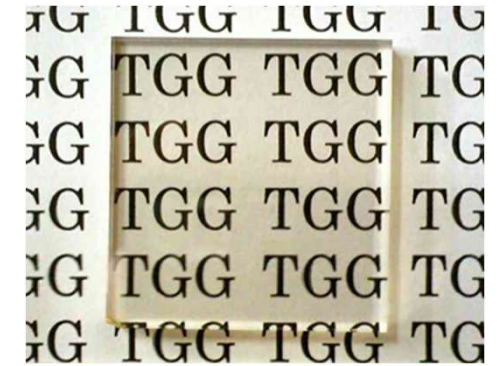
◆極低温冷凍機用



◆レーザー用



◆アイソレータ用



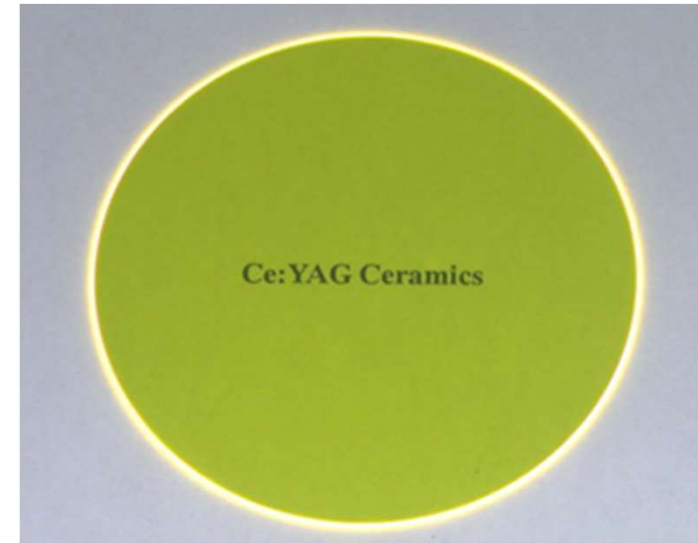
◆シンチレータ



大型放射光施設Spring-8

「国立研究開発法人理化学研究所」提供

◆蛍光体



IV -1.当社について【化成品事業-セラミックス】

世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

セラミックス

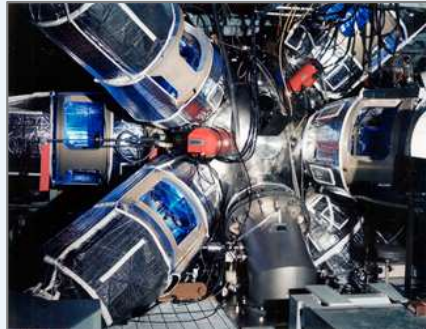


レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータなど

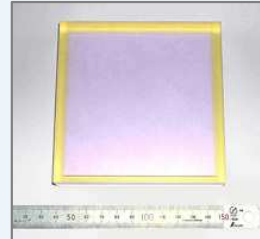
レーザー核融合発電(慣性核融合発電)

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム

この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



ターゲットチャンバー



大出力レーザー用
大型YAGセラミックス



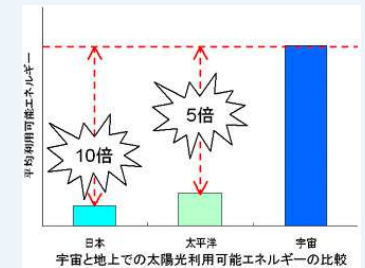
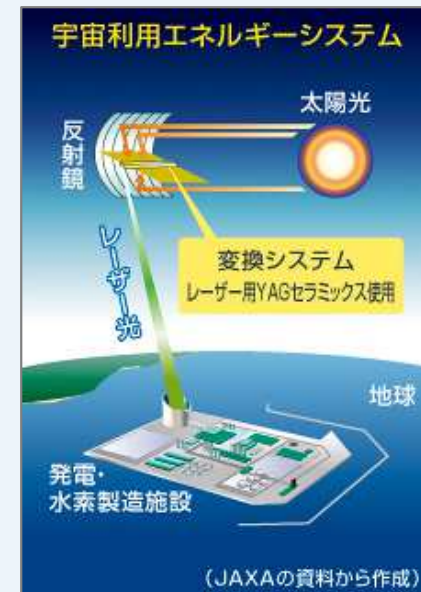
ビームライン

大阪大学 レーザー科学研究所

宇宙太陽光利用システム(SSPS)

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる

当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた(YAGセラミックス一部使用)



IV -1.当社について【化成品事業-セラミックス】

レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

世界の開発状況及び販売先

日本

大阪大学のレーザー科学研究所・東京大学のTACMIコンソーシアム・国内メーカー数社等が、
国家プロジェクト(内閣府, NEDO, JST)で開発

アメリカ合衆国

Rochester大学やLawrence Livermore研究所で開発を進め、世界を牽引

EU(欧州連合)

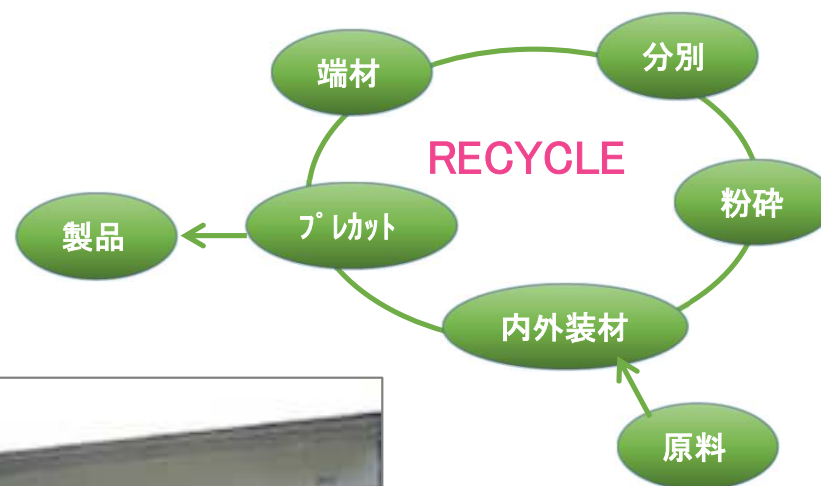
連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開
世界初の100J級セラミックレーザーを開発、大出力レーザー研究の牽引役となりつつある

研究内容

物理学・量子学(フォトン・プラズマ等)の解明、クリーン水素製造、レーザー核融合発電等

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています



建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています

リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります

パレットのリサイクル使用

出荷したパレットは極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています

住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています





KONOSHIMA